

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	有限会社 やわらぎ	代表者	寺川 勲雄	法人・事業所の特徴	同建物内に小規模多機能型居宅介護・グループホーム・介護保険サービス外で賃貸住宅を併設している。利用者の方の身体状況に合わせてながら柔軟に対応し、家庭的な雰囲気でも過ごしてもらえるようにしている。利用者の方の楽しみが増えるよう、季節毎の食材を取り入れた食事の提供やほぼ毎月行事を行い、理念にもあるイキイキワクワクと過ごせるよう努めている。
事業所名	小規模多機能ホームやわらぎ	管理者	越智 美代子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1名	0名	2名	9名	2名	1名	1名	2名		18名

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の自己評価の改善計画の見直しをし、具体的な計画になるようにする。 外部評価の流れ・概要を職員会で説明し、事業所評価・地域の関わりシート等の内容を職員会までに回覧し把握したうえで職員会議で話し合いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員会で外部評価の流れ・概要についての説明を運営推進会議、職員会議で行った。 事業所の自己評価の意見をまとめ職員会までに回覧するように、職員間の連絡ノートや申し送りを行ったが、全職員が回覧し把握することが出来ていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を立てた後、1年後の見直しになっているため、評価期間の中程で見直し改善出来るようにする必要がある。 改善計画を職員全員が周知する必要がある。 事業所とあまり接点がないので、あまり分からなかった。 事業所に足を運ばせてもらう機会を増やしたいと思う。 事業所に来させてもらう機会を増やさないと良く分からない。 外部評価の内容が分かりにくかった。 運営推進会議をされる度に資料を事前にもらうと意見を出しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価の事業所評価、サービス評価総括表をそれぞれの職員が読み把握するだけでなく、改善計画内容を、日々の業務の中でも簡単に把握することができ実践出来るように改善計画書の作成をする。 外部評価期間の中程を目安に職員会議で振り返り、見直しをする。

<p>B. 事業所のしつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ建物内にグループホーム・小規模多機能型居宅介護・賃貸住宅が併設しているため、玄関の入り口に分かりやすい看板を作る。 ・来客があってもわかりにくいいため、インターフォンの音量を上げる。 ・外・玄関脇で下水の臭いがする時には、ご家族に教えてもらうようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関入った掲示板に手作りの看板を作り建物内のそれぞれの位置が分かりやすいようにした。 ・玄関のインターフォンの音量を上げたことにより、日中でも来訪者に気付き対応することが出来ている。 ・下水等の不快な臭いについては、ご家族等の来訪者からの申し出等はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関入口内に看板が出来たのは、気付かなかった。 ・車椅子の方もおられるので、玄関端で靴を脱ぐのですが、靴を脱いだ場所から玄関の上がり框まで裸足で歩かないといけないので嫌だなと思う。(シートを敷いてみるのはどうか) ・玄関に置いてあるベンチの場所を変えてみてはどうか。(上がり框から離れているため) ・行事等により来客が多い時のみ来客時用の靴箱やビニール袋を準備してみてはどうか。 ・日中は、玄関の解錠をしているので不審者が入らないか心配 ・玄関脇で下水の臭いがすることがあり気になる。近隣に住んでおられる方に下水の臭いがするかどうか聞いてみるといいのではないか。 ・駐車場のマンホール上に駐車すると車内が下水臭くなることもある。 ・住宅地に入り込んでいるため、場所がわかりにくい。 ・路地に入る前に看板を立ててみてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関スペースの配置の検討を行う。(スロープの設置場所・ベンチの置き場所・来客者の靴の置き場所など)
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の行事案内を今までより発信する範囲を広げ、地域の方に足を運んでもらうことで、事業所のことを知ってもらえるようにする。 ・地方祭時に休憩場所として事業所の駐車場を利用してもらえないか組長さんに相談してみる。建物外での行事を増やし、近隣の方が参加しやすいようにする。 ・パンフレットの見直しをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の行事案内を地域に発信する範囲を広げたり、建物外での行事を行ったが、事業所に足を運んでもらうまでには至らなかった。 ・パンフレットの内容の見直しを担当職員と行ったが、作成することまでは出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭をしたり、利用者の方が作られた物をバザーに出したりして地域と関わりを持っている所もあります。 ・お祭りの時に神輿に来てもらうといいのではないか。 ・町内会の寄り合いで、今年はお神輿がやわらぎに入ってもらってもと言う意見も出ていたので、入ることになると思います。 ・パンフレットを地域に配ってはどうか。 ・事業所に訪れた時には、職員さんが挨拶をしてくれています。 ・行事を行う日を平日ではなく、土・日・祝日にしてはどうか。 ・小規模多機能型居宅介護のサービスが分かりにくい。 ・イキイキサロンとの交流をしてみてもどうか。 ・回覧板で「ちょこっと通信」(事業所便り)を回すことが出来ますが、久万ノ台地区は範囲が広く4つの地区に分かれているので、やわらぎの地区の中組にだけ回覧板を回すことが出来ます。47～48件分の用意をしてもらい、回覧で回し1部ずつ取ってもらおうようにしてみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの見直し、作成をする。(担当職員を中心に作成する「ちょこっと通信」の内容をパンフレットに盛り込み事業所の行事等の取り組みや小規模多機能型居宅介護のサービスの分かりやすいようにする) ・地域の行事に参加し地域の方と交流する。 ・「ちょこっと通信」を季節毎に作成し地域の方に読んでもらう。(作成担当者を決め、担当者中心に作成する) ・ご家族・地域の方に事業所へ来て頂く機会を多く作る。(行事・ボランティアの方による歌や踊り等の催しの会のお誘い・行事を屋外(敷地内の駐車場)で行うことで近隣の方が参加しやすいようにする)

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加し事業所のことを少しでも知ってもらえるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの方による歌や踊り等の催しの会を行う際も地域の方をお誘いし事業所へ足を運んで下さる機会を作る。 ・地域行事へ参加する時には、ご家族にもご協力して頂き利用者の方が一人でも多く参加出来るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事の夏祭り、防災訓練、避難訓練(一時集合場所までの)、市民大清掃に参加することが出来た。 ・地域行事に参加する時にご家族にご協力をお願いをしていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを地域に配ってはどうか。 ・毎月行っているカラオケ喫茶だんろの案内を地域にしてはどうか。 ・小学生の子供達に車椅子の体験してもらおうというのはいかがでしょうか。大人の方に車椅子に乗ってもらい、子供に車椅子を押してもらうのですが、楽しみながら体験しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょこっと通信」に毎月第二日曜日に開催しているカラオケ喫茶だんろのパンフレットを折り込み地域に配布する。
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょこっと通信」の作成を充実させ、地域に発信出来るようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の開催場所を小規模多機能ホームやわらぎと固定せず、グループホームふうさんのおうちでも開催する。(合同で開催する場合) ・運営推進会議をグループホームふうさんのおうちと小規模多機能ホームやわらぎの合同で開催しない月を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、小規模多機能ホームやわらぎとグループホームふうさんのおうちの各事業所で別々に運営推進会議を行った月が2回あった。別々に行うことでグループホームの様子や雰囲気・利用者の方の身体状況を知ってもらう機会になったのではないかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で用いる活動報告書の作成を時間をかけて作っていると思うので、「ちょこっと通信」の記事に活用してはどうか。やわらぎのことを地域に知ってもらうためにはいいと思う。 ・運営推進会議で地域の困り事を聞いたり、話合ってみるのはどうか。 ・地域の方を交えた話合いは、運営推進会議で行うといいと思う。 ・来年度4月より「ちょこっと通信」を季節毎に作成し配布してみようか。 ・色々な地区の方が関わって下さっているのので、やわらぎの地区の地域の情報収集だけではなく、他の地域の情報収集を行うといいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょこっと通信」を季節毎に作成し、地域の方に読んでもらう。(担当者を決め、担当者中心に作成する) ・運営推進会議で地域での困り事や相談等を聞かせてもらう機会を作る。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所(小規模多機能ホームやわらぎ・グループホームふうさんのおうち)から代表者を決め、防災委員を作り防災についての話し合いをする。 ・ご家族に建物内の構造を知ってもらうために、避難訓練に参加してもらい意見をもらう。 ・地域の方が行事等に参加して下さった時には、建物内を見学してもらい建物の構造を知ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに小規模多機能ホームやわらぎとグループホームふうさんのおうちの利用者の方の防災代表者を決め、会に参加してもらい、防災に関しての不安なことや意見交換をすることが出来た。 ・各拠点から代表者を集め法人で防災委員会を定期的に行い、防災マニュアルの統一・備蓄・持ち出し品等の話し合いを行った。 ・来年度については、法人で防災士の資格習得を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難口が玄關しかないのので、他の避難経路があった方がいいと思う。 ・一時集合場所・広域避難場所の避難経路までの間、倒壊しそである塀等の確認をしてみようか。 ・災害時は、電話の混雑等により連絡を取ることが困難になるため、ご家族への連絡方法を考える必要があるのではないかと。 ・地区によっては、防災組織というものがあるので、相談してみようか。 ・災害時に事業所が出来ることとして地域の方を受け入れるのであれば、災害時に受け入れることの表示を作り掲げてみようか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のご家族との連絡方法を決め、ご家族に知らせる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年 12月 17日 (16:00 ~ 19:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	・管理者(介護支援専門員)・介護職員 12人 ・夜勤専従(非常勤)1名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	3 人	0 人	12人 (未回答 2人)

前回の改善計画

・ご利用者と日々関わる中でちょっとした日常会話や様子、動作等の記録を残す。(記録(文章)が苦手な職員も自分なりに記録する)・記録を記入する際には、ケアプランの支援内容に目を通し、その日に支援出来ていないことを実践する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・短時間でも日常会話に努め、会話内容や動作などを記録に残している。・個別記録・日誌にケアプランの支援内容の記載をすることでケアプラン内容が分かるようにしている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	6	5	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	4	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	6	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4	8	0	14

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご利用者ごとにケアプランの支援計画がうまくいったかどうかを職員会で話し合いをしている。・日誌の様式を見直し利用者それぞれの目標を記載することで分かり易くなり、ケアする際には必ず目を通すようにしている。・事業所の目標(残存機能の発揮が出来るように支援する)を決め、実践することでご利用者それぞれの出来ること・出来ないことの把握が今までより出来るようになってきている。・ご利用者の出来ることを職員間で情報交換することで、ご利用者・職員双方に負担がかからない介助方法(移乗など)が出来てきている。・日常会話の中から利用者の方の「～したい」が聞き出せるように努力している。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・ケアプランの支援内容について、ある程度の理解をしていますが、日々の業務(入浴・排泄・食事・記録など)に追われ、実践出来ていないことがある。・目標達成のための日々、密に関わることが出来ていない。・全利用者のケアプランの内容を把握出来ていない。・ケアプランの支援内容については、日誌で確認するようにしているが、目標のゴールについては、月1回のモニタリング(振り返り)の時にしか確認出来ていない。・日誌の様式を見直し、ケアプランの支援内容を記載をしているが、実践出来たかどうかのチェック欄の記入漏れがある。・実践した内容を職員会時に発言出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・ケアプランの実践が出来た時には、日誌のケアプランチェック欄に対応した職員がチェックするようにする。
・遅出の職員がその日のケアプラン実施状況の把握をし、他職員に声掛け実践出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年 12月 17日 (16:00～19:00)
------------------	-----	-----------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	・管理者(介護支援専門員)・介護職員 12人 ・夜勤専従(非常勤)1名
------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	2人	0人	12人 (未回答 2人)

前回の改善計画	・ご家族に現在の状況を伝えながら利用者・ご家族が相談しやすい環境作りをする。(日々の関わり時に積極的にコミュニケーションを図りながら少しずつ関係性を築く)
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご家族が事業所に来られた時には、近況の様子を伝えている。・遠方に住まれ、なかなかご本人に会うことが難しいご家族には、電話や手紙、写真を送り様子を伝えている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	8	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	2	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5	6	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	2	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	3	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・ご利用者に合った食事の提供をしている。(とろみ・きざみ・お粥)・ご利用者の方との会話の中で心配、不安なことやいつもとは違う表情、体の不調がある時には、その日の勤務している職員に伝え、申し送りをし共有している。・パットを利用されておられる利用者の方は、その方の尿量、皮膚の状態に合わせながらその都度パットの見直しを行っている。・体調の変化があった時には、その日の勤務の職員と相談し主治医の指示を仰ぎ対応している。・基礎的な介護、本人の気持ち・体調の変化にはいつも気を配っている。・車椅子の方であっても日中は、トイレで排泄出来るように支援している。(職員2, 3名での介助)</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>記録の記入の仕方が職員によって違いがある。・ご利用者の言葉(会話)を拾い上げ記録に残せていないことがある。・ご利用者によっては、自宅での生活環境を理解するために、「以前の暮らし方」が10個以上把握出来ていない。・認知症により以前の暮らし方の聞き取りが出来ず情報が少ない。・現状の把握、理解をすることが大変で「以前の暮らし方」までの把握は難しい。・介助方法ばかりに目が向いてしまい、ご利用者の方の全体像の把握が出来ていない。・ご家族とお会いすることが少ないため、情報交換、共有が出来ないことがある。・以前の生活環境が把握出来ていない。・排泄の訴えが難しい利用者の方は、食事前の排泄介助を行っており、その方の排泄時間に合わせた介助が出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・職員持ち回りで定期的に職員会議時に基礎的な介護についての勉強会を行う。(5～10分程度) ・利用者の方がその日の状態に変化があった場合は、対応した職員がその日の勤務職員に伝え、情報共有するようになる。</p>	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年 12月 17日 (16:00～19:00)
------------------	-----	-----------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	・管理者(介護支援専門員)・介護職員 12人 ・夜勤専従(非常勤)1名
---------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	5人	0人	12人 (未回答 2人)

前回の改善計画

・ご利用者の方と一緒に散歩・買物に出掛けたり、地域へ出向いて行くことで地域の情報収集をする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・散歩・買物に利用者の方と出掛けている。・地域の行事(夏祭り)、避難訓練に利用者の方と一緒に参加することが出来たが、年間を通すと地域行事へ参加する頻度が少ない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	7	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	5	2	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	4	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	6	2	12 (2名未記入)

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご利用者との日常会話の中から楽しみにしていること、したいことの情報収集をしている。・地域の行事に参加している。・車椅子の方も介助にて買物に出掛け衣料品・生活雑貨や嗜好品を買われている。・ご家族・知人との関係性を大切にしている。・送迎時や連絡ノートでご家族との情報交換を行っている。・事業所のことを少しでも知ってもらうために、事業所の行事の案内をポスティングではなく、直接手渡しを行った。(留守の場合は、何回か訪問している)・HPのブログに事業所の行事・様子などを掲載している。・遠方にお住まいのご家族の方には、ご利用者がご家族に手紙や電話のやり取りが出来るよう支援している。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・民生委員さんの役割の理解、必要性の把握が出来ていない。・民生委員さんとの直接的な接触が少ない。・ご利用者の方の対応で地域の方と関わりを持つ時間が作れない。・地域資源の把握が出来ていない。・地域との関わりが薄い。・ご利用者の方によっては情報量が少ないためこれまでの生活スタイル・人間関係の理解が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・地域資源の把握をするため、地域マップ作りの検討をする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年 12月 17日 (16:00~19:00)
------------------	-----	-----------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	・管理者(介護支援専門員)・介護職員 12人 ・夜勤専従(非常勤)1名
----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	3 人	0 人	10 人(未回答4人)

前回の改善計画	事業所から地域に発信していく。 事業所の行事案内の範囲を広げる。 ・職員の人員調整を行い、利用者と共に地域の行事に出来るだけ参加し、事業所のことを少しでも知ってもらえるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・今年度は、地域の方との交流の機会を作るためにお茶会・芋たきの行事を行った。 ・地域の避難訓練時に民生委員さんの配慮で事業所のアピールをさせて頂くことが出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	7	0	13 (1人未記入)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	10	0	0	13 (1人未記入)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	10	1	0	13 (1人未記入)
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	10	3	0	14

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること ・日々の関わりの中で身体状況等の気付き、変化がある時には、送りや職員会で情報共有している。・本人のニーズに合わせてながら支援を行っている。・事業所へボランティアの方に来て頂き、歌・詩吟・日本舞踊等を披露してもらっている。・体調が悪い時の急な受診や定期受診、発熱時などは、訪問回数を増やし柔軟に支援している。・近隣の保育園の園児が事業所の夏祭りに参加して下さり交流することが出来た。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること ・地域の資源を把握出来ていない。・地域資源の活用が出来ていない。・今年度は、地域の方との交流の機会になればとお茶会・芋たきの行事を年間行事に入れ行事案内を行ったが、地域の方に参加してもらうことが出来なかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・事業所の行事案内と一緒に「ちよこつと通信」(事業所便り)と一緒に配布する。
---------------	--

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年 12月 17日 (16:00~19:00)
------------------	-----	-----------------------------

6. 連携・協働	メンバー	・管理者(介護支援専門員)・介護職員 12人 ・夜勤専従(非常勤)1名
----------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	2 人	1 人	11 人 (未回答3人)

前回の改善計画	事業所の職員の人員だけでは、利用者の方と一緒に地域行事へ参加することが難しいため、ご家族等に声を掛け協力してもらえるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域行事へ参加するためにご家族へ協力して頂けるよう声を掛けることが出来ていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	5	5	1	12 (未回答2人)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	5	3	4	12 (未回答2人)
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	6	3	4	13 (未回答1人)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	3	5	2	11 (未回答3人)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・医療機関、福祉用具等の事業所と情報交換・連携をしている。・地域の防災訓練に参加した。(民生委員さんが車椅子の介助をして下さった)・地域の行事参加は、車椅子の方ではなく独歩出来る利用者の方の参加が多い。・ご利用して頂いていたご家族が、月2回程度定期的に来て下さり、利用者の方とお話して下さっている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・地域の訪問が行事以外ほとんどない。・婦人会・消防団などの活動に参加出来ていない。・地域の行事参加は車椅子の方ではなく独歩が出来るご利用者の方が多い。・自治体や包括支援センターの会議参加は管理者が参加することが多い。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・事業所の行事年間計画の中に地域の行事を組み込み、職員の人員調整をし地域行事へ参加する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年 12月 17日 (16:00～19:00)
------------------	-----	-----------------------------

7. 運営	メンバー	・管理者(介護支援専門員)・介護職員 12人 ・夜勤専従(非常勤)1名
-------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	5 人	0 人	11 人 (未回答3人)

前回の改善計画	・ご家族に現在の状況を伝えながら利用者・ご家族が相談、意見しやすい環境作りをする。(日々の関わり時に関わり時に積極的にコミュニケーションを図りながら少しずつ関係性を築く)・特定の地域の方(民生委員さん、見守り委員さんなど)だけではなく、行事案内をする範囲を少しずつ広げ、事業所へ足を運んでもらう機会を作り、事業所のことを少しでも知ってもらえるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・事業所にご家族が来られた時や送迎時に状況をお伝えしている。遠方に住んでおられるご家族には、電話や手紙で近況報告をしている。 ・行事案内をする範囲を広げることが出来たが、行事に参加してもらえる程の関係性までには至っていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	6	7	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	4	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	3	6	2	13 (未回答1名)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	5	4	13 (未回答1名)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者・ご家族・地域から苦情があった場合は、職員間で話し合い出来るだけ早急に対応をしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・近隣の住民へ事業所の行事案内、運営推進会議への参加のお願いをしたが、地域住民の方の参加が少なかった。 ・地域と意見交換する機会がない。 ・地域の行事へは利用者の方と一緒に参加しているが、年に数回であるため、顔馴染みの関係性を築けていない。 ・自分で考え、それを意見として出せていない。 ・ご家族・地域の方々とのコミュニケーションが取れていない。 ・管理者任せになっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ご利用者・ご家族・地域住民から苦情・意見などがあつた時には、運営推進会議で報告をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年 12月 17日 (16:00～19:00)
------------------	-----	-----------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	・管理者(介護支援専門員)・介護職員 12人 ・夜勤専従(非常勤)1名
-----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	4 人	0 人	11 人(未回答3人)

前回の改善計画	・危険予測の視点を持ち日々関わる。(ヒヤリハットの記入・対応策の話合い) ・シフトの調整をしながら法人内、外の研修に参加出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・シフトの調整をしながら、事業所内の研修に一人1回は参加出来た。・事業外の研修には、ほとんど参加出来ていない。・朝の申し送り時には、3分間研修を行っているが、忘れてしまうこともあり、職員会で再度立て直しを行い継続出来るようにしている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	6	6	2	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	5	6	3	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	5	6	13 (未回答1名)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	4	4	13 (未回答1名)

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
・法人の新人研修に参加した。・ヒヤリハット・事故報告書に目を通して。ヒヤリハット・事故報告書があった場合には、職員間で話合い対応している。・年間で一人最低1つの研修には参加している。・法人内の研修に参加した。・法人で研修計画を年間で立てており、興味のある研修に参加している。・参加してみたい外部の研修がある時には、勤務の調整をし参加している。・研修に参加した時には、研修内容を職員会で伝えている。・朝の申し送り時に3分間研修を行っている。・職員間で話合いをし目標を立て実践し、職員会でモニタリングしている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
・地域連絡会には、管理者が参加することが多い。・研修に参加する時間がなかった。・研修の内容に興味を持っていない。・興味を持って参加することに対して及び腰になってしまう。・研修に参加出来る程の職員の人数が確保できない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ヒヤリハットの様式の見直しを行う。(日誌のファイルに綴り、すぐ記入出来るようにする。) ・朝の申し送り時に3分間研修の継続が出来るようにする。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年 12月 17日 (16:00～19:00)
------------------	-----	-----------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	・管理者(介護支援専門員)・介護職員 12人 ・夜勤専従(非常勤)1名
--------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	2 人	0 人	11 人 (未回答3人)

前回の改善計画

・日々の関わりの中で身体拘束・虐待についてのグレーゾーンではないかと思うことは、職員間で話し合いをしながら対応する。・成年後見人制度についての研修参加の機会を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果

・法人で成年後見人制度の研修を行った。・日々の関わりの中で身体拘束・虐待ではないかと思うことの話合いを職員会で行った。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	5	0	0	14 人
②	虐待は行われていない	11	3	0	0	14 人
③	プライバシーが守られている	7	6	1	0	14 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	3	1	5	10 人 (未回答4人)
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	8	1	1	14 人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・身体拘束、虐待について研修やスタッフ会で話し合いをしている。・利用者さんの身体状態に合った介護が出来る。・成年後見制度についての研修に参加し理解することが出来た。・個人情報は、事務所で管理している。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・介護記録がデスク上に出したままになっていることがある。・利用者の方の対応が重なった時に「ちょっと待って」、「どこいくの?」と言葉の拘束をしてしまうことがある。・口調がきつくなってしまうことがある。・現在、成年後見制度を活用されている方や予定もないため、研修に参加出来ていない。・職員間で排泄の有無の確認の際に周囲に聞こえてしまうことがある。・排泄介助時、トイレのドアを開けたまま介助していることがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・職員間で隠語(暗号)を決め、職員間での排泄の有無の確認を行う時には隠語を使う。
・その日の通いサービス利用の利用者の方の個別記録ファイルを個別にせず、1つのファイルにまとめる。